

平成23年9月28日

日本曹達株式会社
農業化学品事業部 普及グループ

日曹農薬 登録のお知らせ

平素より日曹農薬の普及拡販にご協力を頂き誠に有難うございます。
この度下記農薬が平成23年9月28日付けで登録変更となりましたので、ご連絡申し上げます。
今後とも、ご指導・ご鞭撻頂きますようお願い致します。

(記)

「キルパー」

(農林水産省登録 第18525号)

【 変更内容の概要 】

下記の作物が登録追加・変更になりました。

1. 作物名「こんにゃく」(根腐病)の使用量「原液として40L/10a」を「原液として40~60L/10a」に変更し、使用方法に「所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。」を追加。
2. 作物名「にんにく」に、適用病害虫名「イモグサレセンチュウ」を追加。
3. 作物名「ねぎ」(黒腐菌核病)に、使用方法「所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する」を追加。
4. 作物名「ほうれんそう」に、適用病害虫名「ハウレンソウケナガコナダニ」を追加。
5. 作物名「わけぎ」、「あさつき」に、適用病害虫名「黒腐菌核病」を追加。
6. 作物名「なす」について、以下のとおり変更。
 - ①適用病害虫名・雑草名「半身萎凋病」、「一年生雑草」に、使用量「原液として60L/10a」とする使用方法「所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。」を追加。
 - ②適用病害虫名「半枯病」、「苗立枯病」を追加。
 - ③適用病害虫名「ネコブセンチュウ」、「半身萎凋病」の使用量「所定の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。」の使用量「原液として40L/10a」を「原液として40~60L/10a」に変更。
7. 作物名「チンゲイサイ」(適用病害虫名：ネコブセンチュウ、萎黄病)を追加。
8. 作物名「とうがらし類」について、以下のとおり変更。
 - ①適用病害虫名「ネコブセンチュウ」、「一年生雑草」の使用量「所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。」の使用量「原液として40L/10a」を「原液として40~60L/10a」に変更。
 - ②適用病害虫名「苗立枯病」「萎凋病」「半身萎凋病」を追加。
 - ③作物名「とうがらし類」の適用雑草名「一年生雑草」に使用方法「所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。」を追加。
9. 作物名「ピーマン：一年生雑草」の使用量「所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。」の使用量「原液として40L/10a」を「原液として40~60L/10a」に変更。
10. 作物名「にら」の使用目的「古株枯死」「ネダニ蔓延防止」の使用時期「前作終了後からは種又は定植の15~24日前まで」を「前作終了後からは種又は定植の10~24日前まで」に変更。
11. 「使用上の注意事項」のうち、「本剤による土壌くん蒸を行う場合は、次のことを守ること」の項目の一部に「なす」「とうがらし類」を追加。

— 次ページに続く —

【適用作物と使用方法】

(下線太字 が変更部分)

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名・ 使用目的	使用量 (原液として)	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバマトリウム を含む農薬の 総使用回数		
こんにやく	ネオブセンチュウ 一年生雑草	40	は種又は 定植の 15～ 24 日前まで	1 回	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1 回		
	根腐病	<u>40～60</u>			<u>所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。</u>			
	乾腐病	60			所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。			
	乾性根腐病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。			
にんにく	乾腐病 一年生雑草 <u>イモグサレセンチュウ</u>	60			所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。	
ねぎ	白絹病 一年生雑草				40		所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。
	根腐萎凋病 一年生雑草				60		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。
	黒腐菌核病						<u>所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。</u>	
ほうれんそう	株腐病、立枯病 一年生雑草 <u>ホウレンソウケナカ</u> <u>コナダニ</u>	40	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
	萎凋病 一年生雑草		60	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。			
わけぎ あさつき	白絹病 一年生雑草	40	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
	根腐萎凋病 一年生雑草	60	<u>所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。</u>	<u>所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。</u>				
	<u>黒腐菌核病</u>		<u>所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。</u>					
<u>チンゲンサイ</u>	<u>ネオブセンチュウ</u>	<u>40</u>	<u>所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。</u>					
	<u>萎黄病</u>	<u>60</u>	<u>所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。</u>					

— 次ページに続く —

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名・ 使用目的	使用量 (原液として)	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバマナトリウム を含む農薬の 総使用回数			
なす	一年生雑草	40	は種又は 定植の 15～ 24 日前まで	1 回	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1 回			
	ネコブセンチュウ	40～60			所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。				
	半身萎凋病	60			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。				
	苗立枯病 一年生雑草				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
半枯病	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。								
とうがらし類	ネコブセンチュウ	40～60			は種又は 定植の 15～ 24 日前まで		1 回	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1 回
	一年生雑草	60						所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。	
	苗立枯病							予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
	萎凋病							所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
半身萎凋病	所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。								
ピーマン	ネコブセンチュウ	40～60	は種又は 定植の 15～ 24 日前まで	1 回		所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。		1 回	
	一年生雑草	60				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。			
	苗立枯病					予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。			
	萎凋病					所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。			
	半身萎凋病					所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。			
乾腐病 一年生雑草	60				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
葉腐病		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。							
ネグサレセンチュウ 一年生雑草		所定量の薬液を土壌中約 15cm の深さに 注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。							
古株枯死		前作終了後 からは種又は 定植の 10～ 24 日前まで			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
ネダニ蔓延防止		前作終了後 からは種又は 定植の 10～ 24 日前まで			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散布または灌水する。				

以上

札幌営業所 TEL:011-241-5581
 仙台営業所 TEL:022-227-1741
 東京営業所 TEL:03-3279-6961
 信越営業所 TEL:0255-81-2323

名古屋営業所 TEL:052-238-0003
 大阪支店 TEL:06-6229-7343
 松山営業所 TEL:089-931-7315
 福岡営業所 TEL:092-771-1336